

「虹の松原」の保全に向けて

～ 松くい虫被害を防止するため 薬剤散布実施前に地元説明会を実施 ～

4月20日、唐津市に所在するの「虹の松原」を保全するための薬剤散布実施前に、佐賀県、唐津市、虹の松原保護協議会、佐賀玄海漁業協同組合など行政機関、団体、18者に対して、令和3年度の松くい虫防除事業に係る薬剤散布計画の事前地元説明会を開催し、白石佐賀森林管理署長ほか6名が出席しました。

はじめに、白石佐賀森林管理署長から、「虹の松原は、唐津湾から吹く海風による飛砂、潮害などから住宅や田畑を保全する海岸防災林としての役割を有し、また文化財、観光資源としても貴重な財産です。この松原を将来にわたって引き継いでいくため、松くい虫防除事業は不可欠であります。本日は、事業実施前に関係機関・団体の皆さんに説明を行うこととしご理解、ご協力をお願いしたい。」と述べました。

つづいて、山部森林整備官から、本年度の松くい虫防除事業について、散布の目的、日程、対象面積、連絡体制などを説明しました。その後、出席者から雨天時の散布対応、交通の規制・解除について質問があり、当署の回答として、天候により適切に判断し、散布の進捗によって交通規制を順次解除していくと回答しました。

おわりに、虹の松原はこれまで多くの方々のかかわりの中で維持されてきました。引き続き、松原保全のため取り組んでいくこととしました。



白石 佐賀森林管理署長(中央) 挨拶



説明会の様子



佐賀森林管理署の説明者